

平成25年度 レクリエーション・インストラクター養成講座カリキュラム表

時間：火・金曜日 午後7時15分～8時45分、土曜日 午前10時～正午

回	開催月日	曜日	学 習 テ ー マ	日レク カリキュラム No	講 師	会 場
1	5/10	金	開講式 実技 コミュニケーション・ワーク アイスブレイキングとは	D-3	加藤 ひさ子	大研修室
2	5/14	火	理論 レクリエーションの基礎理論 レクリエーションの意義	A-1	野崎 守	大研修室
3	5/17	金	理論 レクリエーションの基礎理論 レクリエーション運動を支える制度	A-2	森本 晁生	大研修室
4	5/21	火	実技 演習1-2 ソング	G-2	中嶋 孝	大研修室
5	5/24	金	実技 コミュニケーション・ワーク ホスピタリティとは	D-1	阿部 弘子	大研修室
6	5/28	火	理論 レクリエーションの基礎理論 レク・インストラクターの役割	A-3	森本 晁生	大研修室
7	6/1	土	実技 演習1-4 自然体験ゲーム（持ち物：飲み物・虫よけ・日よけ）	G-4	野崎 守	岩田運動公園
8	6/4	火	理論 レクリエーション支援論 ライフスタイルとレクリエーション	B-1	清水 勝之	大研修室
9	6/7	金	実技 コミュニケーション・ワーク アイスブレイキング方法	D-4	加藤 ひさ子	大研修室
10	6/11	火	理論 レクリエーション支援論 少子高齢社会の課題とレクリエーション	B-2	鈴木 千夜子	大研修室
11	6/14	金	実技 目的にあわせたレク・ワーク 目的にあわせたレクリエーション・ワークとは	E-1	鈴木 千夜子	大研修室
12	6/18	火	実技 目的にあわせたレク・ワーク 目的に沿ったアクティビティの選択	E-2	鈴木 千夜子	大研修室
13	6/21	金	実技 目的にあわせたレク・ワーク アクティビティの提供	E-3	鈴木 千夜子	大研修室
14	6/25	火	実技 目的にあわせたレク・ワーク 相互作用の活用方法	E-4	野崎 守	大研修室
15	6/28	金	実技 目的にあわせたレク・ワーク 指導実習1-1「相互作用の指導案」	E-5	野崎 守	大研修室
16	7/2	火	実技 演習1-1 楽々体操(持ち物：シューズ・スポーツタオル・飲み物)	G-1	野沢 敬子	大研修室
17	7/5	金	実技 目的にあわせたレク・ワーク 指導実習1-2「実施と評価」	E-6	野崎 守	大研修室
18	7/9	火	理論 レクリエーション事業論 レクリエーション事業とは	C-1	中嶋 孝	大研修室
19	7/12	金	実技 対象にあわせたレク・ワーク 対象にあわせたレクリエーション・ワークとは	F-1	加藤 ひさ子	大研修室
20	7/19	金	実技 対象にあわせたレク・ワーク 対象にあわせたアレンジ法の応用	F-2	阿部 弘子	大研修室
21	7/23	火	実技 対象にあわせたレク・ワーク 指導実習2-1「アレンジの指導案」	F-3	阿部 弘子	大研修室
22	7/26	金	実技 演習1-5 チャレンジ・ザ・ゲーム	G-5	中嶋 孝	体育室
23	7/30	火	実技 対象にあわせたレク・ワーク 指導実習2-2「評価と振り返り」	F-4	阿部 弘子	大研修室
24	9/3	火	実技 コミュニケーション・ワーク ホスピタリティの示し方	D-2	阿部 弘子	大研修室
25	9/6	金	実技 演習1-3 クラフト	G-3	宇野 博子	大研修室
26	9/10	火	理論 レクリエーション事業論 事業計画Ⅰ	C-2	中嶋 孝	大研修室
27	9/13	金	理論 レクリエーション事業論 事業計画Ⅱ	C-3	中嶋 孝	大研修室
28	9/20	金	実技 演習2-1 グループ演習「高齢者福祉」①	H-1	村田 靖子	大研修室
29	9/27	金	実技 演習2-2 グループ演習「高齢者福祉」②	H-2	村田 靖子	大研修室
30	10/1	火	理論 レクリエーション支援論 地域とレクリエーション	B-3	森本 晁生	大研修室
31	10/4	金	理論 レクリエーション事業論 安全管理	C-4	清水 勝之	大研修室
32	10/8	火	実技 演習2-3 グループ演習「地域」①	H-3	阿部 弘子	大研修室
33	10/11	金	実技 演習2-4 グループ演習「地域」②	H-4	阿部 弘子	大研修室
34	10/18	金	実技 演習2-5 実習まとめと評価 閉講式	H-5	阿部 弘子	大研修室

計34コマ